みんなのひろば

Message

市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号（44号）のクイズ応募ハガキからです。

▼コラム「人権の眼」にあった「子ども叱るな、来た道じゃ。年寄り笑うな、行く道じゃ。」が印象に残りました。子どもを叱りながら、似たようなことをしていた自分の子供の時を思い出すことがあります。（30代）

本当に、印象深い言葉だと感じます。自分の力で生きていると感じていても、結局、最初と最後は、誰かの手を借りなければ生きていけない人間の性（サガ）を感じます。

▼私も結婚の時、夫の親族が身元調査にこられたと、あとで聞きました。早くそういうことはなくなってほしいですね。（60代）

身元調査は、「安心・安全」を得るための方法なんでしょうが、一方的で、相手を深く傷つける行為だと思います。夫婦の道のりに、「安心や安全」などあるでしょうか？。身元調査で、命を絶ってしまったケースもあります。「身元調査お断り運動」をよろしくお願いします。

▼私が淡路島に参りまして、早、7年を迎えようとしています。一人の方の出会いが今の私を生かして下さっている事を思うと「人の縁」とは、不思議且つ大切な物だとつくづく思います。私は遠く離れた子と孫へのサポートの為、なかなか淡路島で地に足の付かない生活をしているのですが、わずかな淡路島滞在に少しでもお役に立てる事が出来る幸せを感じております。「人との出会いは宝」私のモットーです。（60代）

いつもお便りありがとうございます。人の暮らしには、誰かのお役に立てているという実感（有用感）があると充実します。淡路市に移住されて来た人で、元気を発信して活動して下さっている人が増えてきました。いいですね！

▼第44号の表紙の翔太（しょうた）さんの動物園の絵がすごくステキで見入ってしまいました。（30代）

ありがとうございます。今回の作品は、どうですか？長田（おさだ）君の組写真、ロッククライミングの足場の部品が何か、小動物の目のように輝いて不思議です。着目点がアートだと思います。

▼「淡路」って手話があるのを初めて知りました！（10代）

今回、固有名詞の「津名」です。こぶしを握って、綱を引っ張って下さい。

《メッセージをお寄せください》
クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお願いします。
TEL 0799-64-2521
FAX 0799-64-2565
Eメール awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

くらしのトピックス⑥
淡路市社会福祉協議会
集落を走れ!!守れ!!つながれ!!しゃきょうの移動販売「いづかし号」

淡路市社協では本年2月より、専用の軽トラックを使用した移動販売を行なっています。移動販売は、仁井地区に拠点を置く地域生活多機能拠点「いづかしの杜」が行っています。移動販売は中山間地域を中心に月曜日から金曜日の間で、43ヶ所に曜日と時間を決めて約350種類の食材や日用品を車いっぱいに積み込んで訪問しています。

移動販売をはじめた理由は大きく3つあります。一つは買い物に不便を感じる高齢者等の生活の利便性を少し高めること。

二つ目は移動販売に関わることで、障がいのある人の就労を支えること。そして、三つ目はこの取組を通じて出逢った人たちが有機的につながることです。障がいのある人たちが一方的に福祉サービスの受け手になるのではなく、役割をもって地域の皆さんと関わることができればと考えています。移動販売を通じて、出逢うことによる相互理解が少しずつ広がりをみせはじめています。（続）

ぽわいんと 手話!! 第34回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介します。

「津名」

両手こぶしを握り、綱を引くようにする。

ろうあ者の日常生活を知ろう⑨

オリンピックの中継等、専門用語も多いので字幕（文章）だけでは理解ができない聴覚障害者も少なくありません。手話がついていると、より理解が深まります。四年後の東京開催では手話通訳がつくことを期待しています。

協力：淡路聴力障害者協会
手話サークル津名